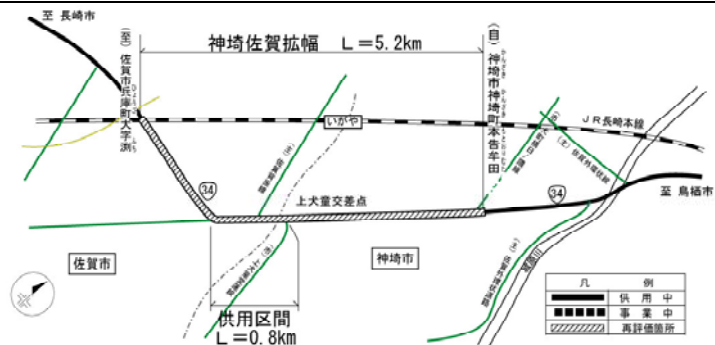


再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：木村 昌司

事業名 一般国道34号 <small>かんざきさがかくふく</small> 神埼佐賀拡幅 起終点 自：佐賀県神埼市神埼町本告牟田 <small>かんざき かんざきまちもとおりむた</small> 至：佐賀県佐賀市兵庫町大字洲 <small>さが ひょうごまちおおあざふち</small>	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 九州地方整備局 延長 5.2km	
事業概要 一般国道34号は、鳥栖市から長崎市に至る延長135kmの主要幹線道路である。神埼佐賀拡幅は、交通渋滞の解消・緩和はもとより、安全性の向上、交通環境の改善、救急医療活動の支援、地域開発及び産業活動の支援に寄与する延長5.2kmの4車線拡幅事業である。			
H4年度事業化	H3年度都市計画決定 (H 年度変更)	H7年度用地着手	H12年度工事着手
全体事業費 約170億円		事業進捗率 42%	供用済延長 0.8km
計画交通量 42,200台/日			
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.7 (残事業) 2.6	総費用 (残事業)/(事業全体) 85/168億円 (事業費: 71/152億円) (維持管理費: 14/16億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 225/280億円 (走行時間短縮便益: 197/251億円) (走行費用減少便益: 16/17億円) (交通事故減少便益: 11/11億円)
基準年 平成18年			
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（年間渋滞損失時間の削減が見込まれる） ・安全で安心できる暮らしの確保（三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる） 他7項目に該当			
関係する地方公共団体等の意見 一般国道34号神埼佐賀拡幅は、交通渋滞の緩和などに重要な役割を果たすことが期待されており、沿線の佐賀市、神埼市を含む国道34号（神埼佐賀拡幅・江北バイパス）整備促進期成会により早期整備の要望（平成18年7月19日）を受けている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・旧神埼町（現神埼市）では佐賀市のベッドタウン化が進展している。 ・沿線地域間の交通需要は増加しており、部分供用後も未供用区間では交通混雑が発生している。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 事業進捗率は事業費ベースで42%である。用地買収において地権者との協議が難航し、一部供用までに長期間を要したが、現在までに0.8kmを部分供用している。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 地元自治体と緊密な連携による用地買収の促進を行い、未供用区間の早期供用に向け整備を進める。			
施設の構造や工法の変更等 これまでに軟弱地盤対策においてコスト縮減を図っており、引き続き事業実施に当たっては、新技術・新工法の積極的活用によりコスト縮減を図ることとしている。			
対応方針 事業継続			
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
事業概要図			



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。